

令和元年度廃棄物施策の実施状況について

1 ごみ処理施策

(1) ごみ減量化・資源化及び適正排出についての普及啓発

①広報誌「広報ひろさき」【継続】

掲載時期	掲載内容
毎月1日号	たか丸くんのごみ減量速報
4/1	ごみ収集の区分の変更
5/1	ごみ集積ボックス設置事業費補助金
7/1	不法投棄・野焼き防止の啓発
8/1	廃棄物減量等審議会委員募集
10/1	事業所から出るごみの適正排出・搬入規制
11/1	地区保健衛生座談会「ごみ減量チャレンジ」開催
12/1	ごみ出しサポート事業紹介
	新聞・雑がみ類回収ステーション ダンボール追加
	事業所のごみ処理訪問相談開始
12/15	地区保健衛生座談会「ごみ減量チャレンジ」開催
2/15	ごみ出しサポート事業紹介
	衣類回収ボックス増設
	ごみ分別ガイドブック
3/15	電池の処分について

※農業ひろさき 7/1号「農業ごみの排出方法」、11/1号「3農協との協定締結」

②ごみに特化した広報誌【継続】※新名称「なごみ生活」

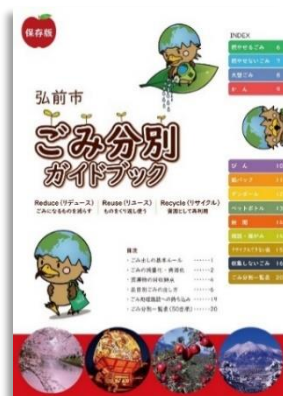
配布時期	掲載内容
7/15 広報ひろさき 同時配布	<ul style="list-style-type: none"> ・3キリ運動のススメ・衣類回収ボックスのススメ ・天日干しのススメ・弘前市ごみ収集アプリ
12/15 広報ひろさき 同時配布	資源物の拠点回収マップ
3/15 広報ひろさき 同時配布	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス・消滅型生ごみ処理ボックス ・ごみ出しサポート事業・地区別ワークショップ型勉強会 ・ごみ分別ガイドブック・衣類回収ボックス・新聞雑がみ類回収ステーション



③ごみ分別ガイドブック【新規】

配布時期	掲載内容
1/15 広報ひろさき 同時配布	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出しの基本ルール・ごみの減量化・資源化 ・資源物の回収拠点・品目別ごみの出し方 ・ごみ処理施設への持ち込み・ごみ分別一覧表（50音順）

※不動産関係団体の協力により、アパート等居住者へも配布



④ラジオ広報 FMアップルウェーブ「行政なんでも情報」【継続】

毎月第1金曜 11:30~11:40 頃放送（10分程度）ほか

放送日	放送内容（計回）
4/5	ごみの分け方・出し方について
5/2	一般廃棄物処理事業実態調査について
6/7	環境の日、環境月間について
7/5	いろいろ試しています
8/2	ごみの研究とかいかがですか
9/6	ごみの雑学について
10/4	食品ロスについて
10/16	事業系ごみ説明会の開催について
11/1	消滅型コンポスト「キエーロ」その後について
12/5	ごみ出しサポート事業について
12/6	食べキリキャンペーンについて
12/12	「新聞・雑がみ類回収ステーション ダンボールもOK」について
12/31	年末年始のごみの出し方について
1/3	ごみ出しサポート事業について
2/7	エシカル消費について
2/19	ごみ出しサポート事業について
3/6	多量ごみの処分の仕方について

※ATV テレビ番組 1/25 放映「ごみの減量化・資源化は一人ひとりが主役！」

⑤ごみ分別収集アプリ【継続】

50音別分別ガイドや、収集日カレンダー等の機能を搭載した、スマートフォン用アプリを導入し、無料で配信しています。

年度	H29	H30	R1 (~12/31)	総数
ダウンロード数	1,205	1,985	3,423	6,613

令和元年度は資源物回収マップの機能を新たに搭載し、民間を含めた資源物の拠点回収の周知啓発を強化しています。



基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策一ア. 広報誌やインターネット等による情報発信 (P. 59)

⑤市町会連合会との協働によるワークショップ型ごみ減量等啓発活動

「ごみ減量チャレンジ」開催【新規】

令和元年 8 月～令和 2 年 1 月

テーマ：自己紹介をしよう

ごみを減らすための楽しいアイデアを考えよう

地区住民に広めるアイデアを考えよう

ごみ減量チャレンジを作成・発表しよう



年度	R1 (R1.8～R2.1 月)
実施回数	11
参加人数	285



⑥出前講座【継続】

●実施実績（令和 2 年 2 月末時点）

講座名	実施回数	人数
1. ホントは知らないごみのお話 ～減量化って？資源化って？～	16	393
2. ごみの分け方出し方（事業所版）	2	38
3. 地域のみんなではじめよう 再生資源回収運動	1	32
合 計	19	463

※平成 30 年度は 12 回実施

基本計画の関連項目

普及啓発施策一ウ. 出前講座などによる周知啓発 (P. 59)

(2) 電動式生ごみ処理機の貸与【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、電動式生ごみ処理機の貸与を実施しています。

年度	H28	H29	H30	R1 (~12/31)
貸与台数	37	37	40	32

基本計画の関連項目

普及啓発施策一カ. 家庭用電動生ごみ処理機の普及推進(P. 60)

(3) 新聞・雑がみ類回収ステーション【継続】

古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）のリサイクルを推進するため、市内5カ所の公共施設に回収ステーションを設置し、拠点回収を実施しています。

令和元年度は、下半期から回収ステーションごとオフィス町内会へ加入することとし、新たにダンボールを回収品目へ加えることで利便性の向上を図っています。

●回収ステーション設置場所（5カ所）

①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④土手町倉庫 ⑤総合学習センター

品目	H28	H29	H30	R1 (~12/31)
	回収量 (kg)	回収量 (kg)	回収量 (kg)	回収量 (kg)
新聞紙	37,201	26,115	21,989	13,375
雑誌・雑がみ	71,870	54,370	40,655	31,921
ダンボール	—	—	—	193
古紙類合計	109,071	80,485	62,644	45,489



(4) 古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）の行政回収【継続】

古紙類（新聞、雑誌、雑がみ）のリサイクルを推進するため、平成 24 年度から月 1 回の行政回収を実施しています。回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

品目	H28		H29		H30		R1 (～12/31)	
	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)
新聞紙	574,940	5,783,412	554,330	6,673,276	497,800	6,434,146	360,460	4,152,237
雑誌・ 雑がみ	546,960	3,108,323	522,860	3,910,825	504,390	2,986,204	661,340	3,727,059
古紙類 合計	1,121,900	8,891,735	1,077,190	10,584,101	1,002,190	9,420,350	1,021,800	7,879,296

基本計画の関連項目

普及啓発施策一ク. 古紙類回収の推進(P. 60)

(5) 使用済小型家電リサイクル【継続】

「使用済小型電子機器等の再資源化に関する法律」の施行に伴い、金属資源を有効利用するため、平成24年度から圏域市町村（黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）と合同で回収ボックスなどによる回収及び中間処理施設でのピックアップ回収を実施しています。

また、圏域市町村と定期的に会議を開催し、効率的・効果的な回収方法について協議しているほか、平成28年3月に合同で国の認定事業者であるリネットジャパン株式会社と宅配便回収についての協定を締結しています。

※協定の締結は北東北の自治体初、定住自立圏関係市町村による同時締結は全国初

・回収ボックス設置場所（11か所）

- ①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④総合学習センター
 ⑤ヒロロスクエア ⑥弘前地区環境整備センター ⑦ケーズデンキ弘前本店
 ⑧～⑩ユニバース堅田店・南大町店・城東店・松原店
 ⑫～⑰市内各出張所窓口回収（石川・裾野・高杉・新和・東目屋・船沢）

回収量 (単位:kg)	H28	H29	H30	R1 (～12/31)
ボックス回収	3,654	4,397	3,260	2,635
ピックアップ回収	17,228	18,870	20,867	12,928
イベント回収	12	8	0	0
宅配便回収	4,564	2,390	2,349	2,781
計	25,458	25,665	26,476	18,344

基本計画の関連項目 ▶▶▶ 普及啓発施策一サ. 使用済小型家電リサイクルの推進(P. 61)



(6) 衣類回収【継続】

平成 27 年度から市役所などの公共施設に衣類回収ボックスを設置し、家庭で不用になった衣類を回収しているほか、再生資源回収運動の回収品目にも追加しています。

令和元年度は大学コンソーシアム学都ひろさきとの連携により、市内大学構内にトライアルで設置し、衣類回収の周知啓発を行ったほか、新たにイトーヨーカドー弘前店、いとく浜の町店に回収ボックスを設置し、利便性の向上と回収量の増加を図っています。

・回収設置場所（17 か所）

- | | | | |
|----------------------------------|--------------|-----------|-----------|
| ①市役所本庁舎 | ②岩木庁舎 | ③相馬庁舎 | ④総合学習センター |
| ⑤ヒロロスクエア | ⑥清水交流センター | ⑦千年交流センター | |
| ⑧北辰学区高杉ふれあいセンター | ⑨イオンタウン樋の口 | | |
| ⑩ユニバース松原店 | ⑪イトーヨーカドー弘前店 | ⑫いとく浜の町店 | |
| ⑬～⑰市内 5 出張所窓口回収（石川・裾野・新和・東目屋・船沢） | | | |

年度	H28	H29	H30	R1 (~12/31)
回収量 (kg)	45,584	86,730	98,111	101,755

基本計画の関連項目

普及啓発施策一シ. 衣類回収の推進 (P. 61)



(7) 再生資源回収運動【継続】

町会・子ども会・PTAなどの団体が、回収の日時・場所を決め、家庭から出る資源物を回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動に対し、回収量1kgあたり4円の報償金を交付しています。

●回収実績（単位：kg）

品目		年度			
		H28	H29	H30	R1 (~12/31)
古紙類	新聞紙	892,254	803,649	694,218	535,538
	雑誌類	385,983	373,669	318,961	255,603
	ダンボール	408,487	401,205	375,473	318,898
	紙パック	21,632	21,552	20,326	16,549
古紙類計		1,708,356	1,600,075	1,408,978	1,126,588
アルミ缶		63,247	62,019	54,986	44,710
衣類・布類		7,814	7,181	6,770	7,188
ビールケース		1,238	896	830	818
ペットボトル		—	6,764	22,831	21,759
びん		41,302	35,086	31,996	24,360
合計		1,821,957	1,712,021	1,526,391	1,225,423

●報償金交付実績

年度	H28		H29		H30		R1 (~12/31)	
	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)
町会	67	2,469,580	70	2,442,160	70	2,060,104	71	1,846,880
婦人会	13	282,336	13	264,684	13	220,240	9	131,636
PTA	39	2,888,292	41	2,651,776	41	2,415,920	37	1,841,300
幼稚園・保育所	10	151,764	9	147,416	9	133,488	9	95,560
子供会	5	78,084	5	86,224	5	85,344	6	125,536
その他	37	1,417,772	38	1,255,824	38	1,072,300	39	860,780
合計	171	7,258,172	171	6,848,084	176	5,987,396	171	4,901,692

(8) 生ごみ堆肥化容器の斡旋補助【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、町会連合会の斡旋による生ごみ堆肥化容器の購入1基に対し、2,000円の補助金を交付しています。

年度	H28	H29	H30	R1
補助基数	55	68	34	43
補助額(円)	110,000	136,000	68,000	86,000

基本計画の関連項目 ▶ 経済的動機付けによる施策一テ. 生ごみ堆肥化容器の購入補助(P. 62)

(9) 廃棄物減量等推進員【継続】

町内のごみ問題を把握し、ごみの適正排出、分別促進、不法投棄防止のための指導等を行うため、各町内会に推進員を配置しています。

年度	H28	H29	H30	R1 (2月末時点)
設置町会数	273	278	283	283
配置人数	573	586	610	618

基本計画の関連項目 ▶ 市民や事業者の協力による施策一ヌ. 廃棄物減量等推進員の活用(P. 63)

(10) 不法投棄・不適正排出防止キャンペーン【継続】

市民、行政が連携・協働し、ごみ収集前の排出状況の確認、排出時の指導、ごみ収集後の状況確認や集積所の清掃など、ごみ集積所の環境美化を図るとともに、相互の関係性の強化や、不法投棄や不適正排出のしづらい環境づくりを強化するものです。

令和元年度は、防止活動をより効果的にするため、監視カメラの貸与と併せてキャンペーンを実施しています。

	H30	R1
実施日	10/24、31 (2日間)	6/3、6/6、6/12、7/2、7/5、 8/21、8/26 (計7日間)
実施場所	堅田町会集積所 (2カ所)	菟中町会、賀田町会、大清水町会、堅田 町会、田中町会集積所 (5町会7カ所)

基本計画の関連項目

その他一ホ. 不法投棄対策(P. 65)



(11) 水銀添加廃製品の回収【継続】

平成30年1月から水銀添加廃棄物の適正な分別・回収の促進を目的に、家庭内に眠っている水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計等を回収しています。

回収窓口	本庁舎（環境課）、 市民課駅前分室（ヒロコ3F）、 市民課城東分室、 岩木総合支所民生課、 相馬総合支所民生課、 弘前地区環境整備センター、 東目屋出張所、船沢出張所、 高杉出張所、裾野出張所、 新和出張所、石川出張所
------	---



基本計画の関連項目

その他一メ. 処理困難物への対応(P. 63)

(12) 一般廃棄物組成分析調査【継続】

ごみの排出状況を把握するとともに、どのような種類のごみがどの程度含まれているか（組成割合）を調査し、更なるごみの減量化・資源化推進のための基礎資料としています。令和元年度は、「その他の紙」を「雑誌・雑がみ」に統合した検証のため「家庭形雑がみ」の調査を3回実施しました。

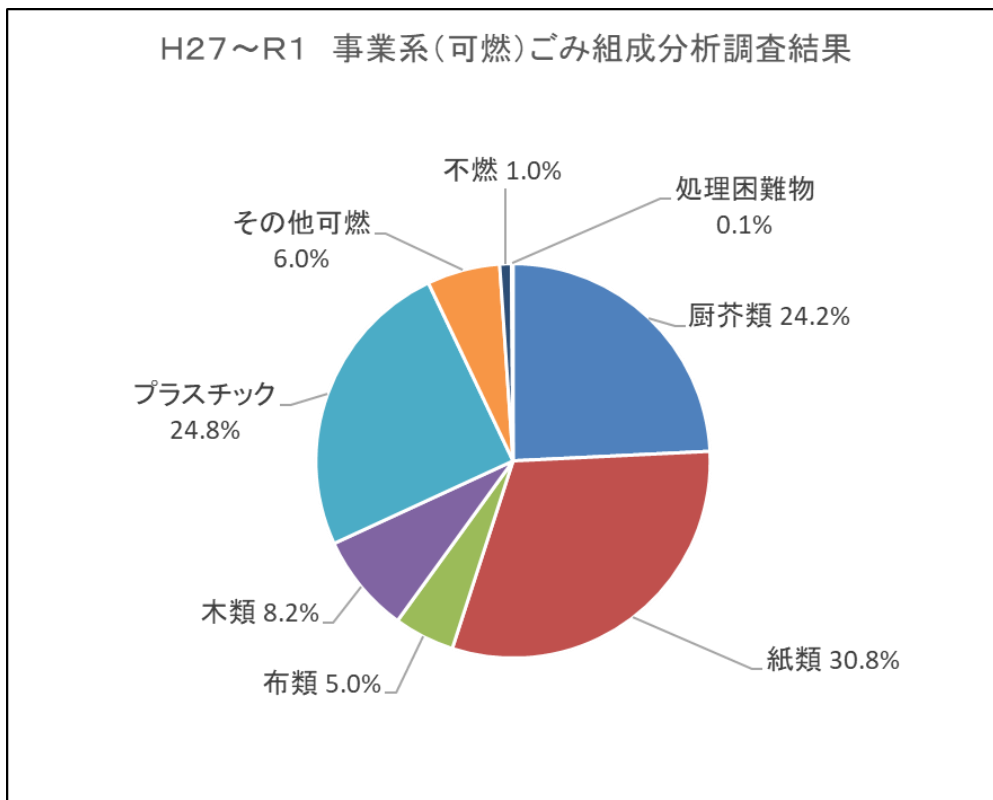
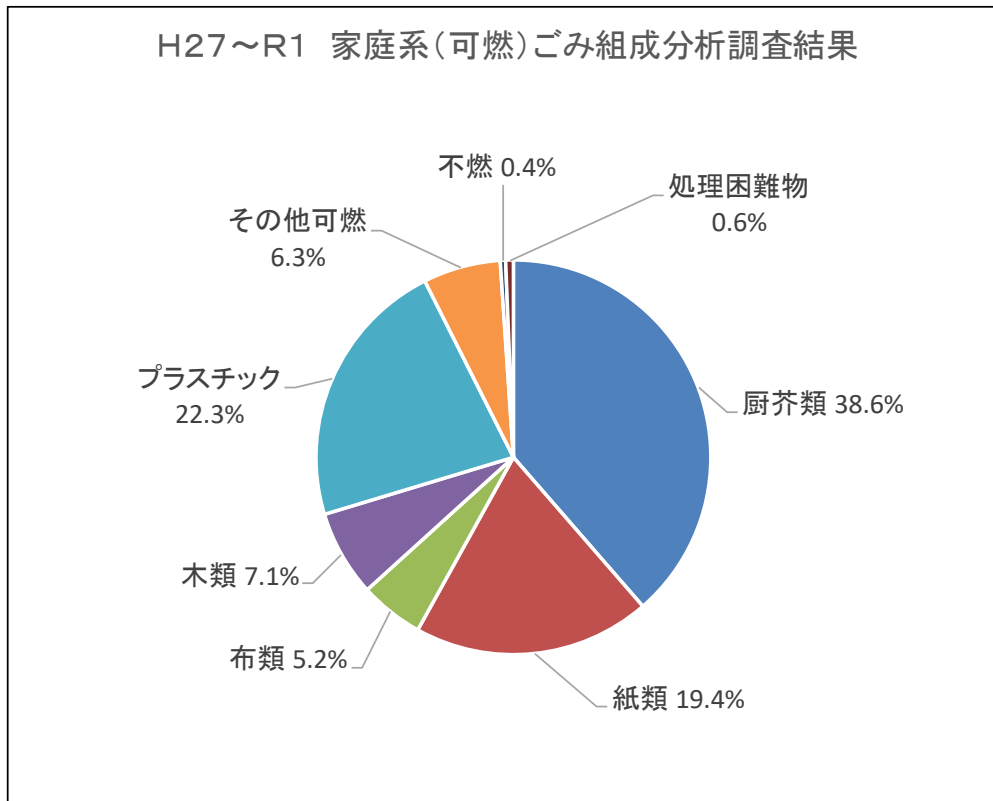
●実施回数

	H28	H29	H30	R1
家庭系燃やせるごみ	7回	7回	4回	4回
家庭系その他の紙	2回	1回	1回	—
家庭系雑がみ	未実施	2回	1回	3回
事業系燃やせるごみ	5回	4回	2回	3回

●想定条件ごとの実施回数（家庭系燃やせるごみ調査）

	H28	H29	H30	R1
学生居住地域	1回	1回	1回	0回
商業地域	2回	1回	0回	0回
住居地域	2回	3回	1回	2回
農村地域	1回	2回	2回	2回
住居兼工業地域	1回	0回	0回	0回

●調査結果（平成 27～令和元年度）



(1.3) 事業所訪問【継続】

当市のごみ処理の課題である事業系ごみ対策として、平成 27 年度から事業所を直接訪問し、事業系ごみの排出ルールをまとめたガイドブック等を配布し、指導を行っています。

令和元年度は、12 月からの搬入規制の開始に合わせ、展開検査の結果、分別が不十分であった事業所や排出方法についての相談があった事業所の訪問指導も行っています。

●訪問件数

年度	H28	H29	H30	R1 (~12/31)
訪問件数	177 件	163 件	89 件	12 件

基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策一コ. 事業系ごみの適正分別・適正排出の推進(P. 61)

(1.4) 事業系ごみ適正排出指導【継続】

平成 27 年度より事業所訪問とは別に、市のごみ収集運搬委託業者である弘前環境管理協同組合の協力を得ながら、主に店舗兼住宅や小規模事業所を対象に、本来事業系ごみとして排出すべきごみが家庭系ごみとして集積所等に排出されている状況を市内一斉に調査するとともに、排出元を特定し、指導を行っています。

年度	H28	H29	H30	R1 (~12/31)
指導件数(件)	63 件	44 件	24 件	19 件

基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策一コ. 事業系ごみの適正分別・適正排出の推進(P. 61)

(15) 展開検査【拡充】

事業系ごみの適正排出を促進するため、平成 27 年度から弘前地区環境整備事務組合が管理・運営する環境整備センターにおいて、搬入される事業系ごみの展開検査を実施しています。

また、令和元年度は、平成 28 年 4 月から実施しているリサイクル可能な古紙類の受入制限に加え、令和元年 12 月から搬入規制（分別不十分、産業廃棄物混入）を実施し、事業系ごみの更なる適正排出と減量化・資源化を図っています。

展開検査実績		H28	H29	H30	R1 (~12/31)
検査日数		209	229	237	216
台数	可燃	852	827	960	1,422
	不燃・大型	—	—	234	665

H30 年度から不燃・大型の検査も開始

搬入規制に向けた事業者等説明会の開催

7/30・11/25（収集運搬許可事業者向け）、10/30（排出事業者向け）

基本計画の関連項目

普及啓発施策一タ. 焼却施設における展開検査(P. 62)



(16) オフィス町内会の推進【継続】

平成22年度に設立された「弘前地区オフィス町内会」は、一般の会社や事務所、官公庁、病院、銀行などの事業所から排出される古紙類を資源回収業者が無料で回収するネットワークです。

市では、事業系古紙類のリサイクルを推進するため、広報活動などにより、排出事業者会員の拡大を図っています。平成30年度末からは、各団体との協定の中で、オフィス町内会への積極的な加入を呼びかけています。

●回収品目及び対象地区

回収品目	(1) 一般古紙（無料） ダンボール、新聞等（新聞、チラシ）、その他の紙 (2) 機密文書（有料）
対象地区	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、 大鰐町、田舎館村、西目屋村

●会員数及び回収実績（弘前市分）

年度	H28	H29	H30	R1 (~12/31)
会員数	264	286	297	370
回収量（kg）	444,645	440,763	440,470	355,837

●県内4地区回収実績推移（単位：kg）

年度	H28	H29	H30	R1 (~12/31)
青森地区	232,874	249,514	231,353	176,837
弘前地区	546,401	523,558	556,852	453,228
西北五地区	51,285	77,605	63,449	52,093
十和田地区	177,733	198,604	237,140	188,345

基本計画の関連項目

市民や事業者の協力による施策一ネ. オフィス町内会の推進(P. 63)

2 生活排水処理施策の状況

(1) 合併浄化槽整備事業費補助金【継続】

下水道及び農業集落排水施設の計画処理区域外での生活排水の適正処理を推進するため、新たに合併処理浄化槽を設置する際に費用の一部を補助しています。

●補助基準額

人槽区分	5人槽	6～7人槽	8～10人槽
補助限度額(円)	352,000	441,000	588,000

※これらの補助金には、国の循環型社会形成推進交付金(1/3)及び
県の浄化槽整備費補助金(1/6)が含まれるため、市負担額は(1/2)となる

●補助実績

年度		H28	H29	H30	R1
補助 基 数	5人槽	0	0	3	1
	6～7人槽	0	1	0	0
	8～10人槽	0	0	0	0
補助額(円)		0	441,000	1,056,000	352,000